

きれいな海づくり事業 ワークショップ 報告書(案)

実施日：平成22年1月9日(土)

時間：午後1時30分～午後4時30分

場所：横浜市青少年育成センター第1研修室

参加人数：43名？

1. ワークショップ検討テーマ

- ①これからも続けて欲しいこと
- ②今後やってほしいこと やりたいこと
- ③問題・改善して欲しいこと

2. 同意点、問題点、発見点

各グループで様々な意見が出たが、ここでは、各検討テーマ別に出た意見において、他のグループの参加者の共感が得られた意見を抽出した。

なお、得点は、共感した参加者数であり、1人が3点ずつ持って共感した項目に対して1点ずつ得点する方法で得られた結果である。(最大で3つの項目に得点することが可能)

(1) これからも続けて欲しいこと

得点	意見
7	・昔あった臨海学校
2	・より海に接することを継続的に!! ・カキを収穫して食べるイベント(水質浄化のアピールも)
1	・人が海と触れ合える方向性で事業が進んで欲しい。 ・海・港湾の歴史、遺産の保護 ・マリインタワー、氷川丸の改修 ・トライアスロン大会のような市民が海に入れるイベント ・洪水対策と浄化機能を合わせ持つ河川設計 ・施設(下水道など)による強化を実行すること。 ・下水道整備、砂浜をつくる。 ・企業は水辺部分を市民に開放する努力をして欲しい。 ・東京湾として連携して欲しい。 ・親水域づくり ・今の山下公園での実験を大きくして欲しい。 ・生態系調査

(2) 今後やってほしいこと やりたいこと

得点	意 見
6	<ul style="list-style-type: none"> ・海づくり税の導入
5	<ul style="list-style-type: none"> ・どこでも海岸に出ることができる。 ・「海に行こう」といえば横浜に皆来るような親水空間 ・臨海学校
4	<ul style="list-style-type: none"> ・砂浜だけでなく岩場をつくる。 ・ハゼ釣り大会
3	<ul style="list-style-type: none"> ・カキの養殖場 ・砂浜とはいわないが生物が住み続ける環境を創出する。 ・企業排水の調査
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングポイントとしての活用 ・生物と合わせて人が集まってくる様な場を作って欲しい。 ・遊ぶための環境づくり ・食べる体験を増やす。 ・近隣の市町村(県)を含めた首都圏サミットを開催し協議する。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・海の中身を知ろう。 ・海づくり事業のビジョンを明確に。 ・市民の力を合わせてきれいに。 ・環境を良くするためもっと多くのお金を使って力を注いで欲しい。 ・休日の工業地帯の開放 ・魚や貝や海草が安心して食べられる海浜にして欲しい。 ・ワカメやノリが採れる海浜にして欲しい。魚の釣れる場も ・ワカメの採れる場所へ行けるようにして欲しい。(海に近づけない) ・海洋教育 ・水質の指標生物をわかりやすく広める。 ・市民(旅行者)のモラルアップ(啓蒙) ・汚水処理方式の改善、投資 ・二枚貝による水質浄化実験を見せる機会を増やす。(イベント、出前授業) ・河川類型指定の見直し ・海をきれいにするための生き物が住める漁礁造り ・横浜の地魚、水産物(ノリ、ワカメなど)をもっとよく知ってもらうためのアピールする場所、機会を設ける。

(3) 問題・改善して欲しいこと

得点	意見
8	臨海学校をつくる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 公園の海岸線の柵を無くして欲しい。(柵はそのままでも市民が入ってほしいようにして欲しい。) 県での縦割りを打ち破って、環境教育へのしくみを作るのは難しいのか。 目標とする海の姿がまだ見えない。 事業者のPRが弱い。
1	<ul style="list-style-type: none"> 海をきれいにしても市民が入れる海が少なすぎる。入れる所を増やして欲しい。 人々が海の方を向いていない。広報！ 一過性のもので継続性がない様に思う。(2~3年で結果は出ない) 市民に知られていないので地道な活動の積み重ね(小学校の環境境域)が必要 人口の多さ、海底の清掃の必要性 意識改革(教育問題) 自然と触れ合うための規制緩和

(4) まとめ

上記の意見を集約すると以下のとおりとなる。

	続けてほしいこと	問題だなと思うこと	やってほしいこと、やりたいこと
1位	昔あった臨海学校 (5)	意識改革(教育問題) 小学校など (4)	横浜オリジナルの臨海学校をつくる! (8)
2位	企業の水辺部分を市民に開放 (2)	海と触れ合う場が少ない (1)	海づくり税の導入 (7)
3位	より海に接することを継続的に (2)	一過性のもので、継続性がない (1)	どこでも海岸に出ることができる (5)

2010/1/17 **横浜の海、共感! ランキング** 1

3. 質問及び回答

各グループで様々な質問が出たが、ここでは内容を精査して集約した。また、当日回答したものについては回答の概要を記載した。

キーワード	質 問	回 答
水質	何がきれいな水（海）なのか？	海域の環境基準があり、横浜港内はC類型に指定されており、現時点でその環境基準はクリアしている。今後はその基準を高めていくことになるだろう。
	昔のようにきれいは？どのような尺度で きめるのか？	
	「きれいな海＝理想の海」本当にそうなのか？	
生きもの	海の臭いを感じるか？	まず、光が届いて、酸素があることが大切である。浚渫して覆砂するだけでなく、海底に石を置いたりして、生物が付着できる工夫をすることが重要である。 潜って調べるとざっと数えても100種はいる。プランクトンレベルまで考えると無数といえる。ただし、汚れていたり、光が届かなかったり、酸素が不足していると生物に偏りがある。
	生物を棲まわせる工夫はどんなことをしているのか？	
	横浜港にはどのような生物がいるのか？	
浄化実験	どうして山下公園前だったのか？きれいで ない所であえてチャレンジした理由は？	今回は水中スクリーンで仕切ったことによりどうなるかという実験であり、雨水や赤潮の影響を排除したときに本当に水がきれいになるのか確認することを目的としている。実験の過程で水中スクリーンに生物がついて水中スクリーンそのものが、浄化能力を持つということがわかった。 全体を仕切るのは無理なので、今後は実用的なもので進めていくことになる。
	東京湾全体を仕切ることはできないかと思う がどうするのか。	

キーワード	質 問	回 答
へドロ	へドロの正体は何か？	浮遊物質（SS）が堆積したものと考えられる。
	へドロの利用方法は？	
	へドロはどう処理しているのか？	浚渫したへドロは、以前は指定されている水域に海洋投棄することが多かったが、最近は処分場に入れている。
	へドロは生物を利用した水質浄化で改善できるのか？	
	横浜港内で泳げるのか？	神奈川県の水浴場の基準があるが、横浜港は海水浴場として指定されていないために計っていない。値的にはクリアしているだろう。
泳ぐ	トライアスロンチームはお腹を壊さなかったのか？	特にはなかった。ただ、赤潮が発生している際には柔らかい所はチクタクすることがあるといわれている。
	下水の分水化（雨水対策）	雨水と下水を一緒に集めているのは中区に多いが、合流改善を進めている。
下水処理	汚水浄化の促進は？	合流改善を進めており、今後改善していくと考えている。
	未処理区域はなぜ処理されないままなのか？	

キーワード	質 問	回 答
浜をつくる	<p>工業地帯と共存できるのか？</p> <p>企業との話し合いは進められているのか？</p> <p>今から横浜港に浜を作ることが可能なのか？</p> <p>海水浴ができる砂浜はできないか？</p> <p>海に面した工業地帯の開放は？</p> <p>浜を造成するために必要な費用は？</p> <p>人工的に環境再生を行うことが本当にいいことなのか？</p> <p>どうしたら早く良い浜が多くできるのか？</p> <p>船との共存をどうするのか？</p>	<p>船が通る所はおそらく何もできないだろう。船が通らないところでは関連部所と協力しながらやっていくことになる。</p>

キーワード	質 問	回 答
ゴール	<p>どこをゴールとするのか？ゴールを何年に設定するのか？</p> <p>問題意識の向上を市民や企業に対して何か計画しているのか？</p>	<p>何年というのは難しいが、市民の意見が多ければ、3ヶ年計画や5ヶ年計画として反映することができる。</p>
	<p>今回のように市民が意見を深める場は他に あるか？</p>	<p>3月にオープンな形で懇談会を開催する予定である。また、市民の意見としては「市長への手紙」というものが各区役所あり、出していただければ我々の施策に反映される市政に反映される。</p>
その他	<p>ダイバーはどの位の頻度で潜っているのか？</p>	<p>正式に潜るためには横浜海上保安部の許可が必要である。山下公園の海底清掃としては年に2日、今回の調査では月1回潜っている。</p>
	<p>海のCO₂吸収について教えてほしい。</p>	<p>意見はいろいろあるが、貝殻ができるのとCO₂をある程度固定できるといえる。外洋であれば海に吸収されているが、沿岸域ではほとんど固定されていない(他の方からの意見)</p>
	<p>アクアラインの配当はどうなっているのか？</p>	

参 考 資 料

(各グループから出た意見及び質問の写真)

これからも続けてほしいこと

- 生態系調査 (魚類、海鳥、海苔)
- 海の浄化事業
- 砂浜の改善
- 浄化の推進
- 砂浜(干潟)をつくる計画を打つ。(熱中症)
- 海の浄化に活用する資源を調査する。

問題・改善

- 水鳥の浄化、海苔の再生をさらに進めたい。(海鳥の糞)
- 東京湾全体が砂浜干潟が壊れている。残っていない。
- 海と陸が繋がることができる環境をつくる。

これからもやってほしいこと

- 環境を良くするため、もっと多くの資金と労力を注いでほしい。
- 公共下水の整備、海に排水が流入するのを防ぐ。
- 砂浜をただでなく、岩場をつくる。
- 生物の生息を妨げないよう、慎重に計画を立ててほしい。
- 海岸貝や油草が繁殖してしまっている場所を、取り除いてほしい。
- 海をキレイにする活動(避けるような場所)
- 休日の工業地帯の開放
- お花見やピクニックとかなる砂浜にしてほしい。
- お花見やピクニックとかなる砂浜にしてほしい。
- 名産品内外に、海外からの観光客を呼び込む。

質問

これからも続けてほしいこと

- 7カメのつり
- 入浴の場を確保し、トイレを設置し、ゴミの分別を徹底する。
- 海苔の再生、海鳥の調査
- 山下公園の整備
- 山公園の整備
- 食の体験

問題・改善

- 遊園地と近接する
- 水質の浄化能力
- 自然と人間の規制緩和
- セーラムの再生
- 行政との連携
- 県との連携

今後やってほしいこと

- 海辺の整備 (ピクニック、お花見)
- 海苔の再生、海鳥の調査
- 大きな波が押し寄せる時に、安全な場所を確保してほしい。
- 海苔の魚心
- 見える場所(遠く)からほしい
- 海に行こう、お花見
- 横浜に訪れる観光客を増やす
- 感謝がある!
- Yes, We can! 教育を変える

質問

赤チーム

続けて欲しい事

水質モニタリング

河川づくり

カキモ水産物
食べたい水
(水質浄化の取り組み)

山下公園前の
水質改善

「ワカメ」の植付
(和食文化)

市民とのふれあい
(問題意識を
持つ)

洪水対策と浄化
機能を合わせた
河川設計

問題点

人口の過密

海底のペロ
をどうする?

合流式
→分流式へ

工業地帯の
汚染

市民の環境問題
に対する問題意識
の低下

工場・海川は
つながっていない

生活排水の規制
(基準の引き上げ)

市民のモラル
(ゴミの分別等)

やりたい事

市民(旅行者)
のモラルアップ
(啓蒙)

下水処理技術
向上への資金投入

二枚貝の水質浄化
実験を民間会社
(バト、出前産業)

貿易の利便性
自然の回復を促す

汚水処理方式
の改善・投資

河川類型指定
の見直し
→A

観光
客への啓蒙
(マナーの徹底、
水質浄化)

生分解性
プラスチック
の普及

海道の生ゴミの
定点観測機(人と
おれを増やす)

企業排
水の調査

企業のCSR
向上

ハゼの育
い

市民の関心を
高める行事を企画

水質指標の
公開

改善計画の
公表

質問

問題 1.

水質浄化

海・川を
浄化し、水質
改善

水質浄化実験

モラルアップ
と水質浄化
の連携

方法として

生物
による浄化

施設(下水場)
による浄化

問題 改善して
ほしいと思うこと

海の清掃活動
の普及

海の清掃活動の
普及

海の清掃活動の
普及

海の清掃活動の
普及

問題 3.

水産物

水産物の
消費

水産物の
消費

水産物の
消費

情報へのアクセス

海に関する
情報を集める

近隣・市町村(国)
を介して情報を
収集

